

平成 22 年の梅雨前線による大雨に関する対応（第 2 報）

平成 22 年 7 月 23 日
9 : 0 0 現在
国 土 地 理 院

これまでの国土地理院の対応は以下のとおりである。

1. 大雨の状況

6月中旬から7月中旬にかけて、梅雨前線は九州から本州付近に停滞し、断続的に活動が活発となった。九州から東北地方にかけての広い範囲で大雨となり、局地的に 1 時間に 80 ミリを超える雨が観測された。特に九州南部ではこの間の総雨量が 1500 ミリから 2000 ミリに達し、平年の2倍を超える雨量となっている。

この大雨により、鹿児島県霧島市・南大隅町、宮崎県都城市、島根県松江市、広島県呉市・庄原市・世羅町、岐阜県八百津町などで土砂災害、福岡県北九州市、山口県山陽小野田市、岐阜県可児市などで浸水被害が発生した。

7月17日には九州北部から北陸、18日には東北地方、20日には九州南部が梅雨明けし、全国的に梅雨明けした。

2. 体制等

7月9日(金) 9時00分 注意体制

3. 国土地理院の対応

○国土地理院として引き続き被害情報の把握に努める

○会議等の出席

7月9日(金) 梅雨期の対応に係る災害対策関係省庁連絡会議(内閣府)に企画部長が出席

○空中写真撮影

航空機(くにかぜ3号)による空中写真撮影を実施

7月17日(土) 山口県山陽小野田市 厚狭川周辺(河川氾濫箇所)を撮影

7月18日(日) 広島県庄原市(土砂災害箇所)、山口県山陽小野田市(2回目)を撮影

7月19日(月) 広島県庄原市(2回目)を撮影

7月20(火)~21日(水) 撮影した写真の処理を行い、空中写真、正射写真図(オルソ)等をホームページに掲載

7月22日(木) 撮影した写真等を関係機関(内閣府、官邸、国土交通省、山口県、山陽小野田市、広島県、庄原市)へ提供

○氾濫区域の地形分類図作成

山口県山陽小野田市の厚狭川周辺において、地形分類図を作成しホームページに掲載(7月16日)

○土砂災害の判読図作成

広島県庄原市西城町周辺において、正射写真図による土砂災害状況の判読結果をホームページに掲載(7月22日)

以 上